

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	デイサービスにじの給田		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 4日		2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	2025年 1月 4日		2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者がリラックスできる心地よい居場所になるよう配慮している。	感覚的に安心できる素材を取り入れたものを用意しつつ、場所を区切る等して安全に過ごせるよう配慮した居場所づくりを心掛けている。	それぞれの居場所で過ごしながらも、職員が間に入って他児と楽しくやりとりができるよう図っていく。
2	職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	発信しやすい雰囲気づくりに努めている。情報がしっかりと伝わるように打ち合わせや振り返りの時間を設けて意見交換をしている。	利用者に対する共通理解やよりよい支援について探っていくよう研修の機会をしっかりとつくる等して技術向上に努めていく。
3	非常勤職員の持ち味を活かした多様な活動プログラムを展開している。	集団遊びも取り入れながら、個々の課題や目標を視野に入れてコミュニケーション能力や社会性が伸びるよう支援プログラムの内容を工夫している。	利用者の興味・関心のあるものを引き出して遊びの中に取り入れながら、体験できる機会を増やしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族の交流の場や研修の機会を設けることができなかった。	以前毎年実施していたバザーがなくなり、保護者の参加や交流の場がなくなった。	保護者の意向を汲み取った研修の機会を設定し、交流の場をつくっていく。
2	コロナ以降、利用者を連れての外出の機会が減った。	感染対策として外出を控える期間が長かった。出掛けなくても庭で外遊びができた。	マンツーマン対応で昼食の買い物に出掛けたり、避難訓練の時に避難場所に移動したり、交通安全訓練で集団で移動したりと、限られた場面での外出は少しずつ行っている。さらに散歩や買い物等外出する機会を設け、社会性を促していく。
3	地域の子どもたちと交流する機会がなかった。	保護者から「必要ない」という意見がこれまでも多く、感染予防も考えて実施していなかった。	インクルージョンの意義を考えながら、地域のイベントに出掛ける機会を設ける等、交流できる機会を探っていく。